

4月・5月は準備、6月・7月は実行

平成30年6月4日（月）

幸田露伴が娘の幸田文に、このような言葉をかけていたと幸田文が残しております。
「おまえの足りないところ、欠けたところというのは、かがんだ姿勢と同じなのだ。それは立つときは、倍の力になる。泣いているおまえを見ると、かがんでいるから、あいつは今に立てる、立つ時は、きっと勇気を持って立つだろうと思う。おまえは、その欠けたところをいいところと同じようにかわいがって、もっていってくれなあ。」（「幸田家の言葉」より抜粋）

様々なそれぞれの日常生活の中で、生徒一人一人は、いつも楽しいことばかりではないと想像します。時には悩んだり、悲しくてどうしようもなくなったりしていると思うのです。自分もそうです。

そのときに、いつもこの言葉を思い出します。

かがんだ姿勢は、いつか人より倍の力で立つためのものなのだ。失敗は次の大きな糧である。

反省より準備が大切。かがんでいるときに、準備をたくさんしているはずだ。

その力を信じよう。

6月7月は実行の季節。前を向いて、進んでいこう。